

白浜レスキューネットワーク通信 4月号

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町 3137-8

TEL&FAX0739-43-8981

<http://srnw.or.jp>e-mail yabiumi@gmail.com

理事長 藤藪庸一

郵便振替 00920-6-85589 口座名：白浜レスキューネットワーク
 紀陽銀行白浜支店普通預金 589389 口座名：NPO特定非営利活動法人
 白浜レスキューネットワーク

自殺者救済活動

4月1日～4月30日

電話件数 188件

メール相談 3人

保護件数 4件(男性3名、女性1名)

帰宅件数 3件(男性2名、女性1名)

○2日、3日と連日保護することに。女性と男性一人ずつ。それぞれ、家族のもとに帰った。

○2日、橋本市の男性を、先月結婚したスタッフのいる教会へつなぐ。

○28日(日)、男性を保護。副理事長の栗田が対応。

生活自立支援活動

4月1日～4月30日

滞在者数 16人(男性12人、女性4人)

自立1件(男性1名)

○コンビニとまちなかキッチンで働く20代女性は、朝6時のミーティングに起きてくるようになった。これまで朝が弱く免除していたが、最近の様子を見て頑張らせることにした。

また、手話を学び始め急激に実力をつけている。

○デイサービスに週3回行き、ヘルパーがほぼ毎日入っている80歳の男性は、最近よく白浜に来た当初の話をする。迷惑をかけたこと、誰がどんな助けの手を差し伸べてくれたかなど、思い出話に花が咲くことがしばしば。

○作業所に通っている男性は、18日、すさみ町のアパートへ引っ越した。生活保護と障害年金と作業所での収入で一人暮らしを始めることになった。

○コンビニとまちなかキッチンで働いている30代男性は、ひとまずの方向性が決まったこと

から落ち着いた感じだ。私たちとのかかわりを通して成長していき、お金をしっかりためて、アパートへ移れる時を迎えたい。

○お菓子屋さんに行っている男性は、これまでの借金をすべて完済できた。これまで仕事を辞めず続けられたことが、何よりも頑張ったことだ。このまま続けて行けるよう見守りたい。

○糖尿病を患っている男性は、5月で滞在を始めて1年になることから、そろそろ共同生活から出て行かなければと考えていた。しかし、自立できる体制が整うまで、ここで頑張ろうということになった。

○豆腐屋とまちなかキッチンと新聞夕刊配達と3つ掛け持ちしている男性は、ずいぶんお金が貯まってきたので、あとは、毎月の収入が安定すれば、自立した生活ができると思う。掛け持ちにも慣れてきたので、アパートに移るのも可能。

○20代の男性は、次のチャレンジが必要だ。敬遠的な学びもそうだが、その他に何に取り組ませようかと考えている。

○まちなかキッチンとホテルでの仕事を両立させたいと思っていた男性は、聖歌隊と男声合唱とハンドベルチームに属している。自分の殻を破るには良い訓練になっている。また楽しみにもなっていると思う。

○言葉に気を付けている男性は、毎週日曜日に、海に出かけ、そこで読書をしているようだ。それが精神的に落ち着く効果をもたらしている。

○70代の女性は、最近、近所の人からお花を株分けしてもらったり、こちらから差し上げたりと関係が深まっているようだ。花壇の横で近所

の人と話している姿をよく見るようになった。
○昨年4月から共同生活に加わっている男性は、アルバイトに行ったが、使用期間中に体力的な問題と経営者への不信感で辞めることになった。

○2月から共同生活に加わった男性は、新しく来る人が皆、自分の同室者となってから、数日後には、共同生活から去ってしまうことについて、責任を感じていた。自分の対応を振り返ることは良いことなので、話を聞いて整理した。定着しきれない人の問題点なども分かち合った。この男性は、良かれと思って、手を出しすぎたり、やさしさを誤解して、言うべきところや守らせるべきところをずらしてしまう傾向があることを考える時間となった。

○まちなかキッチン白浜荘での仕事を始めた女性は、妻と話をするのが助けになるようだ。昼食の準備を一緒にしながら、たくさんしゃべるようになった。

○他のNPOから移ってきた男性は、朝6時のミーティングに起きてくるようになった。その後の掃除もするようになった。

持っていたお金が底をつき、当NPOで用意しているご飯を食べるようになった。

○月末の日曜日に保護した男性は、何度か、他の施設でもお世話になった経験もあるし、他の施設でスタッフをした経験もあるとのこと。場慣れしている感が否めない。共同生活に耐えられるかどうか。まずは一週間。

○橋本教会へ紹介した男性は、教会に通い始めたようだ。うまくつながることを願う。

自殺予防活動

・フードバンク&フードドライブ

2人の男性が利用した。

生活保護をもらっている人が、生活が苦しくなって食材提供をもとめてくるケースがある。生活をしっかり計画的にできているのかという疑問がわいてくる。計画を一緒に建てることのできる関係づくりをしていく。

・放課後クラブ・コペルくんとコペルくん+CS(教会学校)コペルくんの活動は、なかなか

面白い活動になっている。これまでと変わらず、宿題をしっかりとやらせることに加え、水曜日には聖書の時間、金曜日には音楽の時間など、子供たちの興味を引き出す取り組みも始まった。小学校5年生が7~8人集まっている。

第一小学校の校門の前で二日間チラシを配った。親御さん向けのチラシも学校で配ってもらう予定。

スタッフとしてアン・テイラーさんが加わった。



・相談電話

3日、10日、17日、24日に行なった。今月も1人の相談員が休まず電話相談にあたった。

・本の出版とドキュメンタリー映画



www.bokushitogake.com

4月26日まで、ポレポレ東中野にて上映。大阪、京都、名古屋、福岡では上映が終了。横浜、神戸での上映が計画されている。本はアマゾンで購入できます。

・NHKEテレ「こころの時代」の取材が入る。6月放送予定。